

# 飲食料品値上げ 7月は2566品目 年間2万品目ペース

「中東発」値上げラッシュ、夏以降に本格化  
9月は年間最多の3千品目超えに

## 「食品主要195社」価格改定動向調査 — 2026年7月



本件照会先

飯島 大介（調査担当）  
帝国データバンク  
東京支社情報統括部  
03-5919-9343（直通）  
情報統括部：tdb\_jyoho@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/06/30

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに  
帰属します。  
当レポートはプレスリリース用資料として作成して  
おります。著作権法の範囲内でご利用いただき、  
私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

## 次回調査の公表予定

2026年8月の発表は  
2026年7月31日(金) 午前9時

## SUMMARY

2026年7月の飲食料品値上げは、合計2566品目となった。  
2026年通年の値上げ品目総数は、1～11月までの判明分で1万4902品目となった。調査を開始した2022年以降、5年連続で年間1万品目を超えたほか、2022年以降で最少だった2024年(1万2520品目)を上回った。  
中東情勢の悪化を背景に、飲食料品では今夏以降に値上げラッシュが続くとみられる。

株式会社帝国データバンクは、2026年7月以降における飲食料品の値上げ動向と展望・見通しについて分析を行った。

[注]

品目数および値上げは、各社発表に基づく。また、年内に複数回値上げを行った品目は、それぞれ別品目としてカウントした  
値上げ率は発表時における最大値を採用した。なお、価格据え置き・内容量減による「実質値上げ」も対象に含む

## 2026年の値上げ、2万品目ペース 「中東情勢」由来が25%

主要な食品メーカー195社における、家庭用を中心とした7月の飲食料品値上げは2566品目、値上げ1回あたりの平均値上げ率は月平均11%となった。単月の値上げ品目数が2千品目を超えるのは、2026年4月(2838品目)以来、3カ月ぶり。7月単月の品目数としては、2023年(3595品目)に次いで多い水準だった。中東情勢の悪化による原油・ナフサ高を受け、トレーやフィルムの資材価格や原材料高といった影響が表面化し、値上げ品目数を大幅に押し上げた。

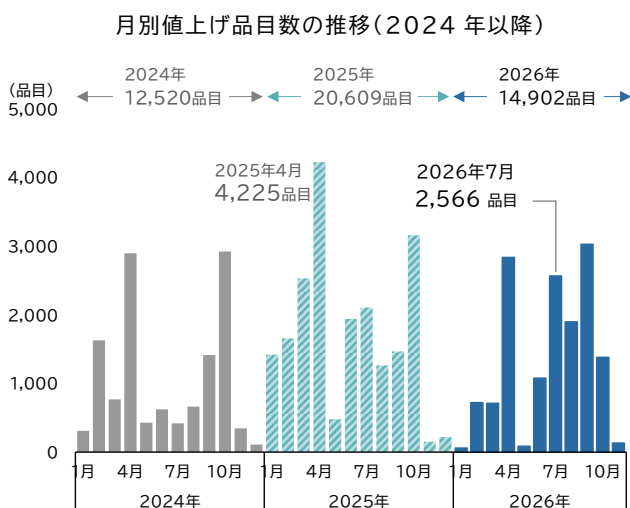
2026年7月の値上げを食品分野別に集計すると、最も多いのは即席めん製品や缶詰製品を中心とした「加工食品」(1084品目)だった。「パン」(1078品目)は、食パンや菓子パン、総菜パンなどで大手メーカーを中心に一斉値上げとなった。

2026年通年の飲食料品値上げ品目数の累計(1~11月までの判明分)は1万4902品目が判明した。調査を開始した2022年以降、5年連続で年間1万品目を超えたほか、2022年以降で最少だった2024年(1万2520品目)を上回った。7月以降では、8月(1898品目)が単月で2千品目にせまるほか、9月(3029品目)は2026年内としては最多となり、2025年10月(3161品目)以来11カ月ぶりに単月で3千品目を超える見通しで、今後さらに増加する可能性がある。

食品分野別に集計すると、最も多いのは冷凍食品やパック米飯など「加工食品」で5780品目に上り、前年の通年実績値(4791品目)を上回った。「調味料」(3467品目)は、だしやたれ製品、醤油製品などが対象となった。「酒類・飲料」(2913品目)は、第三のビールや発泡酒、輸入ワイン、焼酎・日本酒など幅広く値上げとなる一方、酒税法改正の影響を受けてビール製品では減税分の値下げが発生した。「原材料」(606品目)は、小麦粉製品の他に精製糖などが値上げの対象となった。

値上げ要因では、ホルムズ海峡の混乱など国際情勢の悪化が国内産業にも波及し、石油由来の樹脂素材などをはじめ、各種コスト要因として表面化した。「原材料高」の影響を受けた値上げが92.5%を占め、全要因のなかでは最も高いものの、3月以降は低下傾向で推移した。「物流費」(71.9%)は、中東情勢の悪化による原油高などの影響を受けた。「包装・資材」(69.8%)は、トレーや容器などナフサ由来の資材価格高騰を受け、前年同月から10.5ポイント上昇した。また、中東情勢による影響が要因となった値上げ(「中東情勢」)は24.7%を占めた。

### 月別値上げ品目数 推移(2024年以降・2026年6月30日)



### 値上げ要因の推移(品目数ベース)

	2026年 6月末	2025年 6月末	2025年 年間累計	2024年 年間累計
原材料高	92.5%	97.2%	96.1%	92.2%
中東情勢	24.7%	—	—	—
エネルギー	61.1%	66.4%	63.8%	60.6%
包装・資材	69.8%	59.3%	62.7%	68.5%
物流費	71.9%	80.0%	78.6%	68.1%
円安 (為替の変動)	9.1%	12.3%	12.4%	28.1%
人件費	58.6%	53.9%	50.3%	26.5%

〔注〕 値上げ要因には一部重複を含む

## 2026年の見通し:

### 「中東発」値上げラッシュ、今夏に本格化 年内続く見込み

米国とイスラエルによるイランへの攻撃で急激に高まった中東地域の地政学的リスクと、ホルムズ海峡の混乱に端を発した国内の石油製品の供給不安による影響が、食料品でも表面化してきた。インクや食品フィルム、トレー類などで大幅な値上げや品薄状態による包装資材のコストアップに加え、電気代などのエネルギー、物流費の上昇なども製品価格へ転嫁する動きが進んでいる。足元では、中東情勢の悪化によるコスト高などを理由とした値上げは、年内 1.5 万品目のうち 6 月末時点で 2 割を超えており、今後はさらに高まる可能性が高い。為替レートでは 1 米ドル 160 円を超える局面もみられ、円安による輸入コストの上昇が逆風となるほか、異常気象による小麦など穀類の不作や生鮮食品の恒常的なインフレ圧力も今後懸念される。アイス商品をめぐる価格カルテル事案なども発生しているものの、総じて食料品でもコストアップへの対応が難しく、価格の引き上げで対応せざるを得ない局面が当面続くものとみられる。

こうした情勢を背景に、飲食料品では今夏以降に広範囲な値上げラッシュが続くとみられる。年間の値上げ品目数累計は 5 年連続で 1 万品目を突破するなか、年間では前年並みの 2 万品目台での着地が想定される。

#### 食品分野別の値上げ動向

食品分野別の推移(品目数ベース)

	6月末発表時点		2025年		2024年	2023年
	品目数 (判明分)	値上げ率	1-12月 品目数	値上げ率	1-12月	1-12月
加工食品	5,780	15%	4,791	16%	5,757	11,838
調味料	3,467	15%	6,221	13%	1,715	8,052
酒類・飲料	2,913	16%	4,901	18%	2,652	6,175
菓子	959	13%	1,326	18%	1,307	2,270
乳製品	99	10%	1,423	9%	392	1,533
パン	1,078	7%	1,506	6%	108	1,663
原材料	606	10%	441	14%	589	865
合計	14,902	14%	20,609	15%	12,520	32,396

【注】2026年は1-11月の判明分

## 参考：月別の値上げ品目数推移（～2026年11月）

年月	食品分野別							単位:品目	
	合計	加工食品	調味料	酒類・飲料	菓子	乳製品	パン	原材料	
2022年	25,768	9,468	5,953	5,063	1,967	1,225	1,494	598	
2023年	32,396	11,838	8,052	6,175	2,270	1,533	1,663	865	
2024年	12,520	5,757	1,715	2,652	1,307	392	108	589	
2025年	20,609	4,791	6,221	4,901	1,326	1,423	1,506	441	
2026年	14,902	5,780	3,467	2,913	959	99	1,078	606	
2024年	10月	2,924	686	301	1,362	237	100	238	
	11月	344	126	80	23	103	10	2	
	12月	109	91	7	0	11	0	0	
2025年	1月	1,419	58	0	0	87	10	1,264	
	2月	1,656	589	357	266	329	96	0	
	3月	2,529	1,381	14	534	140	284	176	
	4月	4,225	659	2,034	1,222	70	207	0	
	5月	478	137	192	48	14	14	0	
	6月	1,940	755	963	33	76	113	0	
	7月	2,105	117	1,445	206	196	75	0	
	8月	1,262	188	470	181	19	359	0	
	9月	1,467	377	427	23	297	138	0	
	10月	3,161	340	246	2,351	39	119	66	
	11月	150	46	40	0	56	8	0	
	12月	217	144	33	37	3	0	0	
2026年	1月	60	13	17	14	1	0	0	
	2月	721	307	0	298	67	13	0	
	3月	712	314	75	224	65	34	0	
	4月	2,838	609	1,514	403	46	7	0	
	5月	84	30	0	16	38	0	0	
	6月	1,078	304	450	18	268	0	0	
	7月	2,566	1,084	50	49	293	12	1,078	
	8月	1,898	1,389	227	0	24	0	0	
	9月	3,029	1,730	791	438	40	30	0	
	10月	1,715	0	343	1,322	47	3	0	
	11月	201	0	0	131	70	0	0	
前年(同月)比									
単位:%									
2022年	-	-	-	-	-	-	-	-	
2023年	25.7	25.0	35.3	22.0	15.4	25.1	11.3	44.6	
2024年	△ 61.4	△ 51.4	△ 78.7	△ 57.1	△ 42.4	△ 74.4	△ 93.5	△ 31.9	
2025年	64.6	△ 16.8	262.7	84.8	1.5	263.0	1294.4	△ 25.1	
2026年	△ 27.7	20.6	△ 44.3	△ 40.6	△ 27.7	△ 93.0	△ 28.4	37.4	
2024年	10月	△ 38.5	△ 23.0	△ 1.6	△ 57.4	22.8	100.0	-	
	11月	147.5	2420.0	105.1	△ 70.1	472.2	-	-	
	12月	△ 83.9	9000.0	△ 98.6	-	120.0	△ 100.0	-	
2025年	1月	357.7	△ 39.6	△ 100.0	△ 100.0	8600.0	66.7	-	
	2月	1.8	△ 8.4	△ 34.5	60.2	153.1	71.4	-	
	3月	229.7	211.0	△ 78.8	631.5	△ 6.0	711.4	-	
	4月	45.8	△ 68.4	451.2	287.9	△ 44.4	-	-	
	5月	11.9	41.2	-	△ 81.6	366.7	-	10.6	
	6月	211.4	129.5	3110.0	△ 10.8	△ 44.9	41.3	-	
	7月	403.6	42.7	36025.0	3.5	161.3	1775.0	△ 100.0	
	8月	90.9	△ 41.1	739.3	201.7	△ 86.7	17850.0	△ 100.0	
	9月	3.7	△ 50.2	121.2	△ 83.0	55.5	39.4	△ 100.0	
	10月	8.1	△ 50.4	△ 18.3	72.6	△ 83.5	19.0	-	
	11月	△ 56.4	△ 63.5	△ 50.0	△ 100.0	△ 45.6	△ 20.0	-	
	12月	99.1	58.2	371.4	-	△ 72.7	-	-	
2026年	1月	△ 95.8	△ 77.6	-	-	△ 98.9	△ 100.0	△ 100.0	
	2月	△ 56.5	△ 47.9	△ 100.0	12.0	△ 79.6	△ 86.5	-	
	3月	△ 71.8	△ 77.3	435.7	△ 58.1	△ 53.6	△ 88.0	△ 100.0	
	4月	△ 32.8	△ 7.6	△ 25.6	△ 67.0	△ 34.3	△ 96.6	-	
	5月	△ 82.4	△ 78.1	△ 100.0	△ 66.7	171.4	△ 100.0	-	
	6月	△ 44.4	△ 59.7	△ 53.3	△ 45.5	252.6	△ 100.0	-	
	7月	21.9	826.5	△ 96.5	△ 76.2	49.5	△ 84.0	-	
	8月	50.4	638.8	△ 51.7	△ 100.0	26.3	△ 100.0	-	
	9月	106.5	358.9	85.2	1804.3	△ 86.5	△ 78.3	-	
	10月	△ 45.7	△ 100.0	39.4	△ 43.8	20.5	△ 97.5	△ 100.0	
	11月	34.0	△ 100.0	△ 100.0	-	25.0	△ 100.0	-	